

総務企画常任委員会

総務企画常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆白河市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

投票管理者等の報酬の額について、1回あたり100円減額されるが算出の根拠は何か
答 今回の改正は国の減額に準じて行ったものです。

◆白河市職員の退職手当支給に関する条例の一部改正

職員退職の場合、事業者の都合と自己都合では失業保険の給付方法が違うという点とのか
答 原則的に公務員には失業の給付はないが、懲戒免職のように退職手当が出ない場合は3ヶ月の据え置き期間を経て失業手当が支給されるので、雇用保険法の一部改正に伴い、失業者の退職手当の受給資格要件を改正するものです。

なお、自己都合による退職には退職手当が出ます。

また、市長等の退職手当においても、実態にあわせ任期毎の支給とし、月の中途から

の就任は、その月を算入しないこととする改正です。

◆都市計画道路道場小路金勝寺線金勝寺橋上部桁製作・架設及び橋面整備工事請負契約について



金勝寺橋

平成19年度中に入札を行った理由は

工事日程の関係上、今年度中に桁を工場にて作成するために、入札を行ったもので

桁をのせる工法とは

最初に下部工の橋脚に仮設の桁を設置し、工場で作成した1スパン5分割の桁を現場で順次組み立てて、移動

設置していく工法です。

現在工事を中断しているが、夏場の工事が出来ない理由が何かあるのか

上部工の工事はシーズンを通して出来るが、下部工については渇水期にならないと増水などで工事施工が危険との理由で、県から許可が出ないため、10月以降の工事着手を予定しています。

落札率は66・7%ですか

落札率が低いと品質の低下など問題にならないのか

入札者から入札価格内訳書の提出を求め、白河市競争入札審査委員会が入札価格内訳書の内容の精査を行った結果、設計数量等については著しく差異は見られなく、品質低下を招く恐れが少ないとの判断から落札と決定されました。

本事業は国庫補助金の対象事業であるが、この落札率が問題点として出てこないのか

会計検査院の対象事業でもあり、橋の製作については、施行の品質管理などで、県の技術なども取り入れるため、

担当者県に派遣するなど、徹底した指導監督を行います。

一般的に、この落札率を見る限り、設計段階での見積りが甘かったのではないのか

今回は特殊な橋であったため、本工事については、製作会社から事前に見積りを徴収して、その中の最低見積価格と、それ以外の諸経費等は国の補助事業基準に基づいて設計額を算出しました。

平成19年度一般会計補正予算

財政調整基金積立金は、本市の財政規模から、どの位の金額を目標にしているのか

一般的に言われているのは、標準財政規模の10%の積立てが望ましいと言われており、本市の場合、約16億円の積立てが必要となるが、将来の財政状況を考えると、より多く積み立てることが望ましい。

情報管理費としてパソコンの買い替えを150台行うが、職員用パソコンの台数と職員数に差があるがパソコンは臨時職員等を含め職員一人一台の設置になっているのか

買い替えはネットワークに接続しているパソコンのコンピュータウイルス対策のためです。

ネットワークに接続したパソコンの職員一人一台の設置を目指し、事務の効率化を推進しているが、まだ、職員全員への設置には至っていません。

買い替えて余剰になったパソコンの再利用は考えているのか

150台全部を精査し、再利用出来るものはネットワークに接続しないで再利用を図り、再利用できないものは、パソコンリサイクル法に基づき処分します。

電子申請の状況は

現在、住民票などの申請だけはパソコンでできるが、交付は窓口で行っており、あまり普及していないのが現状です。

電子決済の状況は

本市の内部情報系にシステムは整っており、まず会計事務決裁の実施について現在検討中です。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

市民産業常任委員会

市民産業常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

◆不動産の取得について



堂山業務用団地

堂山業務用団地の買収単価はどのようになるのか

白河地方土地開発公社では、旧大信村と委託契約を結び、議会の債務負担行為の議決を得た上で、これまでに、用地取得費・用地造成費・調査測量費などとして約1億3183万円を投入し、造成事業を実施してきた。今回は、旧大信村が既に取得した土地を除く、6658・48平方メートルを取得するものです。従って、全体的にかかった事業費を今回の面積で按分した上で

の就任は、その月を算入しないこととする改正です。

◆都市計画道路道場小路金勝寺線金勝寺橋上部桁製作・架設及び橋面整備工事請負契約について



金勝寺橋

平成19年度中に入札を行った理由は

工事日程の関係上、今年度中に桁を工場にて作成するために、入札を行ったもので

桁をのせる工法とは

最初に下部工の橋脚に仮設の桁を設置し、工場で作成した1スパン5分割の桁を現場で順次組み立てて、移動

設置していく工法です。

現在工事を中断しているが、夏場の工事が出来ない理由が何かあるのか

上部工の工事はシーズンを通して出来るが、下部工については渇水期にならないと増水などで工事施工が危険との理由で、県から許可が出ないため、10月以降の工事着手を予定しています。

落札率は66・7%ですか

落札率が低いと品質の低下など問題にならないのか

入札者から入札価格内訳書の提出を求め、白河市競争入札審査委員会が入札価格内訳書の内容の精査を行った結果、設計数量等については著しく差異は見られなく、品質低下を招く恐れが少ないとの判断から落札と決定されました。

本事業は国庫補助金の対象事業であるが、この落札率が問題点として出てこないのか

会計検査院の対象事業でもあり、橋の製作については、施行の品質管理などで、県の技術なども取り入れるため、

単価を計算すると今後造成工事の一部が残っているが、現段階では坪当たり2万5957円となります。

企業誘致の見通しについて

下見に訪れている企業もあるが、契約には至っていない。立地条件については、矢吹インターから近く、県道矢吹天栄線にも面しており、新幹線の車窓からも見ることが出来るなど恵まれています。今後も企業誘致活動を進めていきます。

平成19年度国民健康保険特別会計補正予算

総務職員給与関係費の、増額補正です。

平成19年度地方卸売市場特別会計補正予算

卸売市場管理運営費の、増額補正です。

白河市地方卸売市場の民間委託を視野に入れた今後の経営について。

市民の台所として安定供給するため、即、民間委託という考えはないが、今後の市場のあり方については、検討



公設地方卸売市場

していかなければならないと認識しています。

売り上げ状況の推移とそれに対する対策について

平成3年の青果物と水産物の売り上げ合計は、45億482万2000円。これに対して平成18年は、21億5426万7000円です。

売上減少の要因の一つとして、小規模店が閉店してしまっただけで、買受人そのものが減少していることがあげられます。大手スーパーは独自の流通経路を持っており、市場では、大手スーパーへの売込みをしたり、新たな買受

担当者県に派遣するなど、徹底した指導監督を行います。

一般的に、この落札率を見る限り、設計段階での見積りが甘かったのではないのか

今回は特殊な橋であったため、本工事については、製作会社から事前に見積りを徴収して、その中の最低見積価格と、それ以外の諸経費等は国の補助事業基準に基づいて設計額を算出しました。

平成19年度一般会計補正予算

財政調整基金積立金は、本市の財政規模から、どの位の金額を目標にしているのか

一般的に言われているのは、標準財政規模の10%の積立てが望ましいと言われており、本市の場合、約16億円の積立てが必要となるが、将来の財政状況を考えると、より多く積み立てることが望ましい。

情報管理費としてパソコンの買い替えを150台行うが、職員用パソコンの台数と職員数に差があるがパソコンは臨時職員等を含め職員一人一台の設置になっているのか

買い替えはネットワークに接続しているパソコンのコンピュータウイルス対策のためです。

ネットワークに接続したパソコンの職員一人一台の設置を目指し、事務の効率化を推進しているが、まだ、職員全員への設置には至っていません。

買い替えて余剰になったパソコンの再利用は考えているのか

150台全部を精査し、再利用出来るものはネットワークに接続しないで再利用を図り、再利用できないものは、パソコンリサイクル法に基づき処分します。

電子申請の状況は

現在、住民票などの申請だけはパソコンでできるが、交付は窓口で行っており、あまり普及していないのが現状です。

電子決済の状況は

本市の内部情報系にシステムは整っており、まず会計事務決裁の実施について現在検討中です。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

の通学路も兼ねた箇所であり、大変狭い。一般車両に対し、朝の通学時間の交通規制がとれるかどうかなど、交通事故防止について検討努力していきます。



農道整備 (白坂皮籠)

自転車通学の利用が多くなる。柵の設置など車対策は

通学専用ではないため、交通安全については担当課とも協議のうえ進めます。

森林居住環境整備事業の減額補正は県補助金削減が原因である。との説明がありました。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

教育福祉常任委員会

教育福祉常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告いたします。

平成19年度介護保険特別会計補正予算

繰越金及び過年度分の支払基金交付金、国庫・県支出金の確定による9千189万7000円の増額補正であり、介護給付費準備積立基金、諸支出金に充当するものです。

問 介護給付費準備基金積立金の現在額はいくらか

答 平成18年度末現在で、2億1千878万8000円であり、ます。

平成19年度一般会計補正予算



ひがし保育園

本委員会に付託された部分は、たいしん保育園敷地造成工事の補正など、保健福祉部に係る予算1千706万7000円の増額と、小中学校教員のパソコン購入費、和太鼓演奏曲制作費、職員の時間外手当など、教育費に係る予算982万5000円の増額補正をするものです。

問 たいしん保育園建設に係る財源は何か。また森林環境交付金で10割補助されるものもある。腰板や廊下など最高70万円まで助成される。考える余地があると思うが

答 歳入財源は、合併特例債を考えている。補助制度については、今後、検討します。

問 同保育園の基本・実施設計及び工事はいつか

答 今年度は、測量設計・地質調査・土地造成工事を行い、来年度に本体と外構工事を予定し、21年4月開園を目指します。

問 広域保育運営費の委託料は、本人負担と市単独の一般財源か。また、算出根拠は

答 市単独である。保育料には、保育単価がある。年齢に

よっても異なるが、基本単価・加算分・寒冷地分等に基づき算出し、基準額を月額17万1640円としました。

問 小中学校教員のパソコンは、なぜリースでないのか

答 児童・生徒用は5年を目途としてリースにしています。教員用は長期間使用してもらうため、購入にしました。



五箇中学校

問 白河南中が開校する時の生徒数及び3年後に予想される生徒数は何人か

答 開校時は、白五小、白一小、白三小校区関係の見込みで173名。3年後は220名を超える生徒数を想定しています。

問 白河南中建設事業の、財

源補正の理由は

答 起債額を抑制するため、地域再生債を減額して一般財源に振り替え、また、体育施設改修、給食センター改修費を一般財源から福島県市町村振興基金に振り替えました。

これは、地域再生債よりも県の振興基金が無利子を含め利率が低く、返済条件も有利な理由によるものです。

問 白河創作和太鼓演奏作曲委託料の財源は、ふるさと文化振興基金助成金と一般財源で賄われているが、この目的からすると全額基金充当でもよかったと思うが

また、各部署は事業を構想する際、一般財源からの持ち出しを抑制するため、国・県・財団等の補助金・助成金を活用すべきと思うが

答 文化振興基金についての基準は設けていないが、申請内容を精査したうえで、運営委員会に諮り最終的に金額を決定しました。

また、財源については、従来から国・県の補助金はもとより、民間の助成金などの情報を収集し、財源の確保に努めています。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。

◆現地調査◆

9月18日、五箇中学校、五箇小学校、ひがし保育園、ひがし幼稚園、小野田小児童クラブ、同放課後児童教室の現地調査を行った。

五箇中、五箇小では、先生から校舎の使い勝手を聞いた。ひがし保育園、ひがし幼稚園では、実情をつぶさに視察した。小野田小児童クラブ、小野田なかよし教室は、地域の方々の協力で弾力的に運営され、教育と福祉の連携がうまくとれていました。



小野田なかよし教室

建設水道常任委員会

建設水道常任委員会に付託された議案の内容と審査状況について報告します。

平成19年度一般会計補正予算

問 公営住宅ストック総合改善事業における久田野市営住宅駐車場整備について、駐車場の不足やトラブルは解消できるのか。また、使用料についてはどうなるのか



久田野市営住宅駐車場

答 現在、久田野市営住宅駐車場の不足により、夜間に車を止められないという苦情や緊急車両の通行に支障があるなどの問題があります。

今回の整備により、一戸1台分の駐車場は確保されます。



久田野市営住宅駐車場

また、今後、入居者説明会を開催し、入居者の協力をお願いし、駐車場の区画を指定して契約していく予定です。現在、使用料は無料ですが、整備後は月額2000円を予定しています。

なお、駐車場所を確定することにより、車庫証明を発行することができま。

問 他の市営住宅においても、駐車場の不足によるトラブルがあるようだが、今後の整備計画はあるのか

答 他の市営住宅にもアンケートをとった結果、駐車場の整備を進めてほしいという声が上がっており、年次的に予算要求をしていきます。

今年度については、苦情は受けていません。

問 南湖公園の松くい虫の被害状況について

答 平成17年度・78本、平成18年度・104本、平成19年度9月現在・51本の報告を受けています。

問 松くい虫の空中防除における地域の苦情は、どのような状況か

答 今年度については、苦情は受けていません。

問 南湖公園の乱杭打ちの場所や計画について

答 今年度は前年度に引き続き、千世の堤の残り約100mを予定しています。当該箇所の乱杭打ちは、今年度で終了を予定していますが、護岸がかなり痛んでいる所もあり、乱杭打ちや詰杭打ちについて、文化課と協議しながら予算化していきたい。

問 松くい虫の空中防除における地域の苦情は、どのような状況か

答 今年度については、苦情は受けていません。

平成19年度公共下水道事業特別会計補正予算

問 白河市の公共下水道普及率について

答 平成18年度末現在、公共下水道だけでみると普及率は40%です。なお、普及率は、現在の人口で割った数字であり、旧白河市だけで見た場合



南湖公園(乱杭打ち)

は50%です。合併により人口が増えたために40%という数字になっています。

平成19年度農業集落排水事業特別会計補正予算

9月補正により、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ69万8000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ13億9427万9000円とするものです。

◆決算の認定について

平成18年度、白河市公営企業会計の決算について、地方公営企業法第30条第4項の規定により、議会の認定に付するものです。

平成19年度簡易水道事業特別会計補正予算

今回の補正予算の主なものは、修繕費と土木機械賃借料です。

・大信簡易水道事業の修繕費130万円、使用料及び賃借料19万円です。

付託された議案は、いずれも原案のとおり可決しました。